

台協連情報

2026年3月31日

第135号

愛媛県生活協同組合連合会

〒790-8543 松山市朝生田町3丁目1-12

☎ (089) 931-5207 FAX (089) 934-0393



国際協同組合年（IYC2025）記念

「愛媛・北海道交流集会」を開催しました

11月14日(金)に、愛媛県協同組合協議会（EJC）が主催し、協同組合ネット北海道とオンラインにて「愛媛・北海道交流集会」を開催しました。EJCではIYC2025を主体的に取り組むため、独自県テーマ『地域とともに…広がれ！つながれ！愛媛の協同×SDGs』を制定しています。今回、その根底にある地域の人口減少への想いや対応に共鳴いただける団体として「協同組合ネット北海道」に交流集会の開催を呼びかけて開催が実現しました。交流集会には県内の各協同組合より55名が参加（県生協連から13名参加）しました。

交流集会では、愛媛県からはJAにしようより「労働力確保の取り組みについて」、続いて、愛媛県漁協より「宇和海・瀬戸内海の保全活動について」の報告がありました。また、北海道からは「北海道大学講座の開催」、「北海道協同組合就活サミット」、「子どもの居場所づくり応援基金の創立」、「北海道まるごとカレーパン」、「記念講演会の開催」、「協同組合間学習・交流会」の報告がありました。

両道県の報告を受けて、それぞれの会場で報告を聞いての感想や質問を出し合い、それぞれから感想の報告、質疑応答を行いました。両道県からは、「愛媛県の魚類養殖でのAIを搭載した自動給餌システム導入に驚いた。」、北海道の「大学講座で各協同組合の現地視察は素晴らしい。」、「就活サミットの各団体の人事担当者が集まって企画、運営していることに驚いた。」などの感想や質問がいくつも出されました。最後に助言・応援コーディネーターとして参加していただいた、愛媛県より（元愛媛大学教授）北海道大学板橋教授と、北海道より北海道大学小林准教授よりコメントをいただいて交流集会を終了しました。

今回の交流集会では、両道県の特色ある取り組みの相互交流を通じて理解を深めることができましたし、地域内外での協同組合間の連携が強まったのではないかと考えています。今後もIYC2025を契機にSDGsの達成や持続可能な地域社会づくりに向けた協同組合の連携した取り組みが更に広がるように努力して参ります。



第74回通常総会を開催しました

6月24日(火)、四国ろうきん松山ビル大会議室にて、第74回通常総会を開催しました。美濃欽也会長理事のあいさつの後、議長にコープ自然派しこくの鴻上智保子代議員を選出しました。各種委員選任の後、代議員37名（本人出席26名、書面出席11名）の出席により総会が成立していることを報告しました。

第1号議案「2024年度活動報告・決算関係書類承認の件」、第2号議案「2025年度活動計画及び収支予算決定の件」、第3号議案「役員選任の件」について、本銅貴重専務理事が一括提案し、上甲久夫監事が監査報告を行いました。その後、議案審議に移り、3名の代議員より以下のテーマで発言がありました。

- 松山大学生協 上田 詩織 代議員
「ミール・共済の集いの取り組み」について
- 新居浜医療福祉生協 村上 由希美 代議員
「わたしの居場所」～歩いて行ける距離に～ について
- コープ自然派しこく 野島 貴子 代議員
「2024年度活動報告」について

発言を受けての理事会からのまとめを本銅貴重専務理事が行いました。各生協の報告から、組合員が笑顔になり、喜ばれている様子や熱心に活動されている様子が伝わってきました。その後採決が行われ、全議案が全会一致で採択されました。最後に大田常務理事より閉会のあいさつがあり、第74回通常総会を閉会しました。

総会終了後、今期をもって役員を退任された5名の皆様に感謝状が贈呈されました。長きに渡り県連の活動にご尽力いただき誠にありがとうございました。

<退任役員>

倉田均 氏・北岡 徹 氏・岡田 英志 氏・
加藤 誠一 氏・本銅 貴重 氏



採決



開会あいさつ 美濃 欽也 会長理事



奥: 鴻上 智保子 議長
手前: 発言
コープ自然派しこく 野島 貴子 代議員



議案提案 本銅 貴重 専務理事



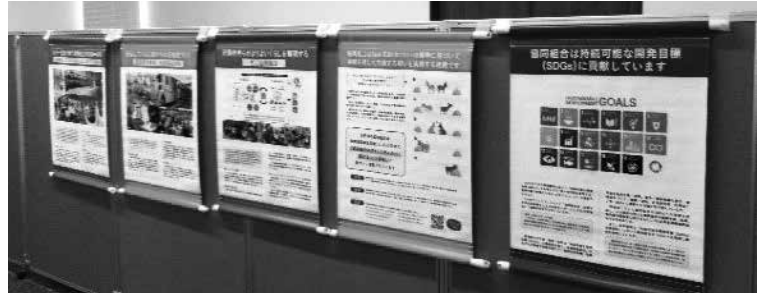
発言 松山大学生協 上田 詩織 代議員



発言 新居浜医療福祉生協 村上 由希美 代議員



閉会あいさつ 大田 良作 常務理事




国際協同組合年 タペストリー展示



退任役員 感謝状贈呈



退任役員代表あいさつ 倉田 均 氏


IYC2025・第103回国際協同組合デー記念行動
「EJC海岸清掃と海の学習会」を開催しました

7月5日(土)は国際協同組合デー。愛媛県協同組合協議会が主催し、「EJC海岸清掃と海の学習会」を開催しました。県内の各協同組合より96名が参加（県生協連から25名参加）しました。

はじめに主催者を代表し、JA愛媛中央会総合企画部の別府部長が挨拶を行った後、2グループに分かれて伊予市しおさい公園付近の「海岸清掃」を実施しました。その後、愛媛県水産研究センター栽培資源研究所に移動し、「海の学習会」ということで、清水所長さんに愛媛県の水産業の概要や水産研究センターの事業内容、栽培漁業の推進や養殖業の振興について話していただきました。また、水のない水族館や水産研究センター内の見学もしました。SDGs、地産地消に繋がる取り組みとなりました。



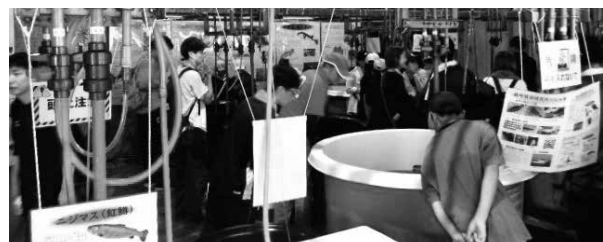
海岸清掃



小学生も多数参加しました



海の学習会



水産研究センター内の見学

「第27回しこくピースアクションリレーinえひめ」

“しこくピースアクション”は今年で27回目を迎えました。1999年に初めて四国4県の生協が共同して開催された取り組みで「子どもたちに平和な未来を」と書かれた横断幕をつないでいきます。今年が高知から始まり、7月5日(土)高知～7月12日(土)愛媛～7月19日(土)徳島～7月20日(日)香川～8月4日(月)広島へと平和への願いを引き継ぎます。

愛媛では無料映画会「えっちゃんのせんそう」を松山市総合コミュニティセンター・コスモシアター



にて開催し、105名の組合員さん（他県の生協含む）が参加されました。映画の前には会場のみinnで「折り鶴」を折りました。親子でいっしょに折り鶴を折っている姿がとても微笑ましかったです。

終戦から80年の今年、参加された一人ひとりが改めて平和の大切さや尊さを考えるきっかけとなりました。



「2025市民平和行進（広島）」に参加しました

8月4日(月)広島市で実施された「2025市民平和行進」（主催：市民平和行進広島県連絡会）に愛媛県から5名が参加しました。

出発のつどいでは広島県原爆被害者団体協議会、広島YMCAの各代表者挨拶、組合員メッセージ、横断幕等の紹介がありました。しこくピースアクションリレーの横断幕も紹介され、四国の仲間たちの参加を歓迎していただきました。行進には中四国の生協からの参加もあり、約200人で行進しながら「戦争も核兵器もない平和な世界を」ということをアピールすることができました。最後の平和公園での集結のつどいでは、広島県原爆被害者団体協議会、広島県生協連の各代表者挨拶、広島市長メッセージ、こども代表メッセージの後、虹のコーラスのリードにより参加者で合唱を行いました。終戦から80年、今回参加された一人ひとりが改めて「戦争も核兵器もない平和な世界を」と心に強く想った一日になりました。



出発のつどい



横断幕の紹介



本通商店街を行進



四国の皆さん

「愛媛県総合防災訓練」に参加しました

9月7日(日)、令和7年度愛媛県総合防災訓練が宇和島市大浦地区の宇和島港ふ頭用地をメイン会場に実施されました。愛媛県生協連は大規模災害時に備え、愛媛県と「災害時における生活必需物資の調達に関する協定」を締結しており、この訓練には2006年から毎年参加しています。愛媛県生協連は、コープえひめの協力を得て、救援物資供給訓練に参加しました。

今回の訓練は、午前8時15分に宇和島市で前日から降り続く大雨のため土砂災害警戒情報が発表され、宇和島市大浦地区に避難指示が発表され、さらに同日午前8時30分、土佐湾を震源とする南海トラフ地震が発生したとの想定で、道路啓開・ライフライン復旧訓練、土石流倒壊家屋救出訓練、避難所開設・運営訓練、救援物資供給訓練等が実施されました。自衛隊、警察、消防、県、市町などによる被災者の救出救護訓練、NPO・ボランティア等、関係各所との連携も取られていて素晴らしかったです。参加してみて、訓練は“いざ”という時の備えとしてとても重要だと感じた同時に、繰り返し行うことが大切だと感じました。

メイン会場には令和6年能登半島地震の断水エリアで活躍した手洗いスタンド「WOTA」の展示もありました。



国際協同組合年（IYC2025）記念 「役職員学習セミナー」を開催しました

10月30日(木)、愛媛県協同組合協議会（EJC）では、IYC2025記念「役職員学習セミナー」を開催しました。セミナーには各団体の若手職員26名（県生協連から9名）が参加しました。セミナーでは、まず基調報告として①「2回目のIYC 協同組合を考える」、②「コロナ禍大学生は協同組合をどう感じたか」（大学提供講座受講生の声より）をEJC事務局の黒河氏よりお話しいただきました。その後グループワークにて、ワークショップ全体テーマ「コロナ禍の大学生の声から協同組合の未来を考える！」に取り組みました。



「少子高齢化が進む中で協同組合の基本的利用者は、組合員であることなど、これまで協同組合が持つ強みがこれからの社会では、とても大きな弱点になり、協同組合の存続自体が危うくなってしまっているのではないかと感じた。」などの大学生の声に対して、真剣な議論が交わされました。

「くらしの講座」を開催しました

■中予会場 『死ぬときくらい自分らしく逝きたい』

～エンディングノートと、価値観、人生観～

講師 原穂高氏
愛媛生協病院（副院長 内科・家庭医療科部長）
日時 9月30日(火)
場所 松山市男女共同参画推進センター
参加人数 57名



講演会全体の様子

【参加者の感想】

- デジタル遺品とか、いろいろなものの年会費（解約）のこと、知らなかった事が多くてためになりました。少しずつ整理していき、私らしく生き、逝きたいと思いました。（50代）
- エンディングノートは「大切な人に贈ることができる最後で最大のプレゼント」。（70代）



参加者に質問！「遺言書作ってますか？」

■東予会場 『私たちのまわりの消費者トラブル ～実例と対処法～』

講師 山内氏、稲田氏 消費生活センター
日時 12月3日(水)
場所 新居浜市市民文化センター
参加人数 27名

【参加者の感想】

- よくネット通販を利用するので気を付けたい。今日の話を両親にも伝えたい。
- 安全で安心な暮らしを守るために、国語力を鍛えたり、情報が事実かどうか見極める事が大事。



講師：消費生活センター 山内氏・稲田氏



質疑応答の様子

■南予会場 『“怒り”と上手につき合うコツ』

～アンガーマネジメントを学ぼう～

講師 石井真奈氏
（一社）日本アンガーマネジメント協会認定
アンガーマネジメントコンサルタント
日時 12月3日(水)
場所 愛媛県歴史文化博物館
参加人数 17名



石井真奈氏 講演の様子

【参加者の感想】

- 思考のコントロール、「まあ許せるゾーン」を広げる、一定にする、言葉にして伝える。とても分かりやすく日常に取り入れたいと思った。
- 自分の“べき”について見直してみたい。6秒ルールを大切にしたい。とても楽しく学べてよかった。



講座全体の様子

県生協連「第11回福祉事業交流会」を開催しました

12月6日(土)、アイテムえひめにて、県生協連「第11回福祉事業交流会」を開催しました。参加者は愛媛医療生協、新居浜医療福祉生協、松山医療生協、コープえひめから44名が参加されました。

今回の福祉事業交流会は、公益社団法人認知症の人と家族の会（愛媛県支部代表）の森川隆氏を講師に招き、『認知症とともに生きる ～認知症の予防とまちづくり～』というテーマで講演をしていただきました。

講演の中では、「認知症を正しく理解する」として、認知症の人の置かれている状況を理解する視点や中核症状（記憶障害・計算力、判断力の低下など）の理解、行動心理症状の理解などについてのお話や、「認知症を理解する上で大切なこと」では、認知症の当事者の立場で考える、尊厳を守る、共に生きる視点を持つ（共生社会の実現）、認知症という病気にも目を向けるのではなく“人”にも目を向ける、などのお話をしてくださり、たくさんの学びがありました。講演の最後には「認知症が安心して生活できる街づくり」とは「安心して認知症になれる街になること」そのためにも認知症を地域で支える仕組み、地域で支え合う環境作りをみんなで行っていきましょう！と元気が出るメッセージをいただきました。

次に各生協からの活動報告を4名の方が行いました。日々、利用者さんのことを思い、笑顔になっていただけることを精一杯がんばっておられる様子や、学習会開催で予防に努めておられる様子などが伝わってきました。そして最後にグループ交流を行い、認知症の方にとってどのようなサービスを行っているか？安心して認知症になれる街づくりのために何ができるか？について意見交流を行いました。



講演の様子

【各生協からの活動報告】



「地域包括センターとともに
“みんなのカフェ”へ」
愛媛医療生協
生協宇摩診療所ブロック
理事 松木 久美子 さん



「今を楽しく生きる」
松山医療生協
小規模多機能ホーム虹の家
管理者 佐賀 一馬 さん



「組合員さんと学習会」
コープえひめ
福祉事業部
マネジャー 亀井 聡 さん



「わたしの いばしょ。。」
新居浜医療福祉生協
デイケアともだち
管理者 大西 順子 さん

【参加者の感想文より抜粋】

- ・認知症の方の言動、行動にはすべて理由があり、それが何なのか？に気付くことが大切だと感じた。
- ・「相手の立場になって認知症を知解する」わかっていたつもりでしたが、全く足りていないことに気付きました。
- ・利用者様一人一人の事を“知る”を改めて取り組む。歴史を知って今を知る事で投げかける言葉を変化させていきたい。
- ・他事業所の方と意見交換ができてとても参考になった。
- ・改めて利用者さんに対して思いやりを持ち、穏やかな気持ちで接していきたい。本当に今日参加して心が晴れました。

愛媛県生協連のプロフィール

(数値は2025.3.31現在)

名称 愛媛県生活協同組合連合会 (略称/愛媛県生協連)
 所在地 愛媛県松山市朝生田町3丁目1-12 TEL (089) 931-5207 FAX (089) 934-0393
 ホームページ: <http://ehime.kenren-coop.jp> メールアドレス: i_abe@ehimekenren-coop.or.jp
 代表者 会長理事 美濃 欽也 (みのう きんや)
 創立 1952 (昭和27) 年 2月13日

加盟生協数 15会員生協

(内訳) 地域生協 2 生協コープえひめ、生協コープ自然派しこく
 医療生協 3 愛媛医療生協、松山医療生協、新居浜医療福祉生協
 職域生協 3 松山市職員生協、井関農機生協、愛媛県職員生協
 大学生協 4 愛媛大学生協、松山大学生協、
 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学生協、大学生協中四事業連合
 学校生協 1 愛媛県学校生協連
 共済生協 1 愛媛県共済生協
 住宅生協 1 生協愛媛県労住協

総組合員数 557,207人 (世帯) 世帯加入率92.6%

(内訳) 地域生協 328,405人 学校生協 15会員 (10,000人)
 医療生協 60,655人 共済生協 141,816人
 職域生協 6,678人 住宅生協 1,964人
 大学生協 17,689人

総事業高 509億円

(内訳) 地域生協 401億 838万円 学校生協 8,752万円
 医療生協 73億1,677万円 共済生協 6,220万円
 職域生協 2億1,595万円 住宅生協 2億8,486万円
 大学生協 27億9,740万円

総出資金 164億3,973万円

目的 協同互助の精神に基づき、民主的運営によって会員の組織の強化、経営の健全化を図り、会員の構成員たる組合員の生活文化の向上と世界平和に寄与する。

事業 ◇会員の指導、連絡並びに調整
 ◇日本生協連並びに各種協同組合、関係行政等との連絡及び渉外
 ◇会員並びに会員の構成員たる組合員の生活の改善及び文化の向上を図るための事業 など

役員 【理事 15名】 【監事 2名】

会長理事	美濃 欽也 (生協コープえひめ 理事長)	理事	郷田 正俊 (松山市職員生協 事務局長)
副会長理事	大西壽美子 (愛媛医療生協 専務理事)	〃	溝口 和裕 (愛媛大学生協 専務理事)
専務理事	阿部 一治 (常勤)	〃	高橋 悠 (松山大学生協 専務理事)
常務理事	大田 良作 (大学中四国事業連合理事会室長)	〃	黒飛 雅明 (愛媛県共済生協 専務理事)
理事	山川 光男 (生協コープえひめ 専務理事)	〃	大塚 岳 (愛媛県労住協 常務理事)
〃	前田 陽一 (コープ自然派しこく 専務理事)	〃	井戸 司 (愛媛県学校生協連 理事)
〃	田野 克典 (松山医療生協 専務理事)	監事	上甲 久夫 (愛媛県職員生協 専務理事)
〃	鴻上千恵美 (新居浜医療福祉生協 専務理事)	〃	盛 由香里 (松山東雲大学生協 専務理事)
〃	吉川 亮 (井関農機生協 専務理事)		

(顧問) 濱本 幸紀、立川 百恵、大川 耕三、松本 等